ARUQAndroid Assist8の属性をARUQAndroidへ転送する方法

Assist8の属性をARUQAndroidへ転送する方法

【smzファイルについて】

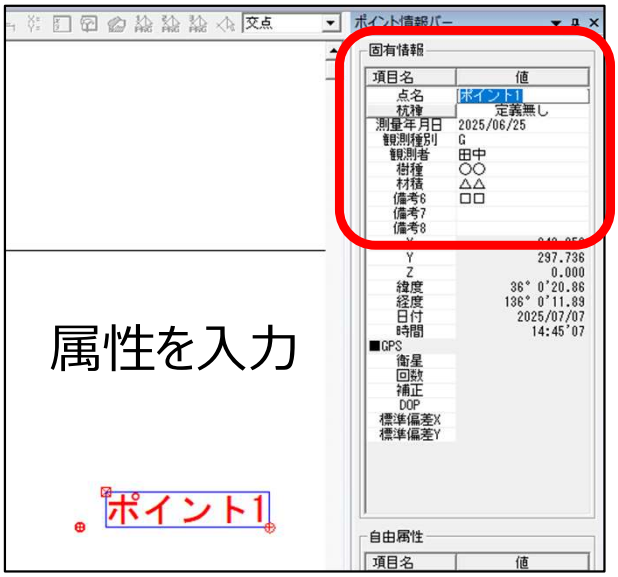
ARUQAndroidでは属性情報をsmzというメモ帳アプリで開けるファイルで管理しています。smzはsmr(ARUQAndroidのデータ拡張子)と同名のファイルで対になっています。

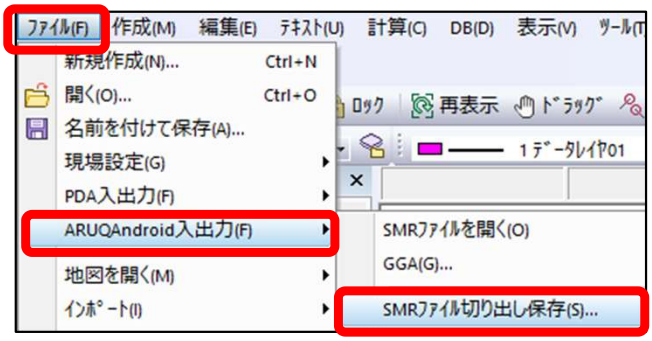
ARUQAndroidの
[設定]→[保存・システム設定] →[smz関連]→[smzの使用]
にチェックをいれて[OK]をクリック。
チェックを入れることでsmzの属性情報(属性名)が反映されます。

Assist8の属性をARUQAndroidへ転送する方法

【Assist8→ ARUQAndroid　ポイントの属性情報の転送】

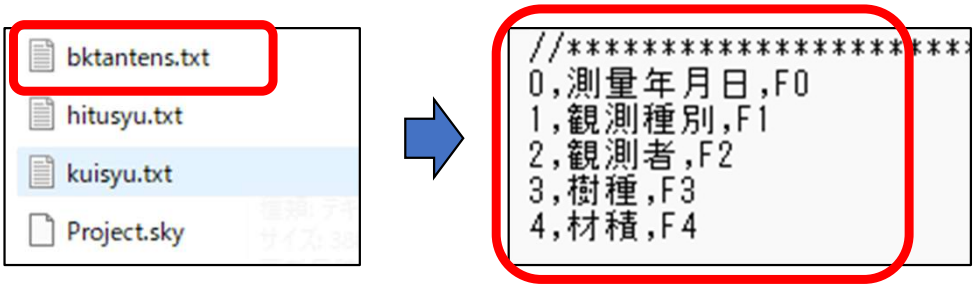
切り出しで持っていけるポイントの属性情報はAssist8の
固有情報の点名、杭種、備考1～8の項目のみです。
ポイントに属性を付与し、通常通り切り出し保存を行います。





通常通りの切り出し保存

備考1～8の属性名はAssist8上では変更することができません。
[bktantens.txt]を現場フォルダ内に保存し、テキストで開いて
編集することで属性名を変更することができます。



テキストで任意の属性名を入力

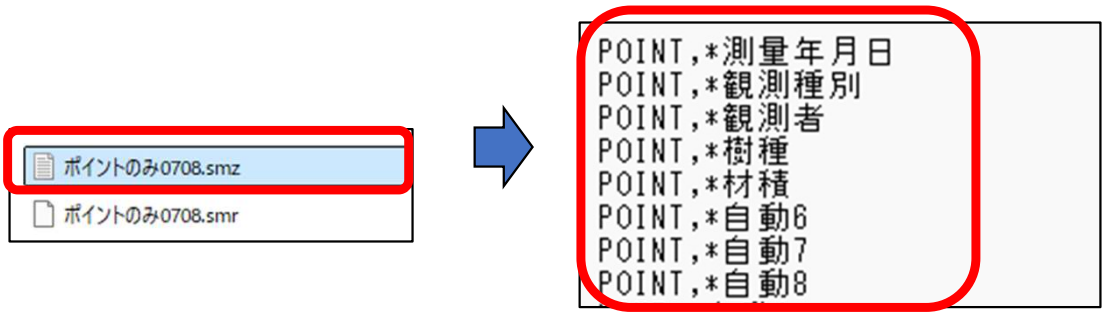
Assist8の属性をARUQAndroidへ転送する方法

ARUQAndroidから切り出し保存したsmrファイルを開きます。
対象のポイントをタップすると、[点情報]が表示されます。
その[点情報]をタップするとAssist8で設定した属性情報を
表示させることができます。
ただしこの段階では属性名は引き継げていません。

属性の値は反映されるが、
属性名は反映されない！

Assist8の属性をARUQAndroidへ転送する方法

PC側に保存したsmrデータ（smrフォルダ内）と同一名のsmzファイルを開き、テキストでポイントの属性名を変更します。
保存したら端末の[内部ストレージ]→[aruqdata]内のsmzファイルに上書き保存します。
（※ [aruqdata]内のsmzを変更しても上書き保存ができません。）



テキストで任意の属性名を入力

もう一度ARUQAndroidから対象のsmrファイルを開き直し、[点情報]をタップすると先ほど設定した属性名が表示されます。

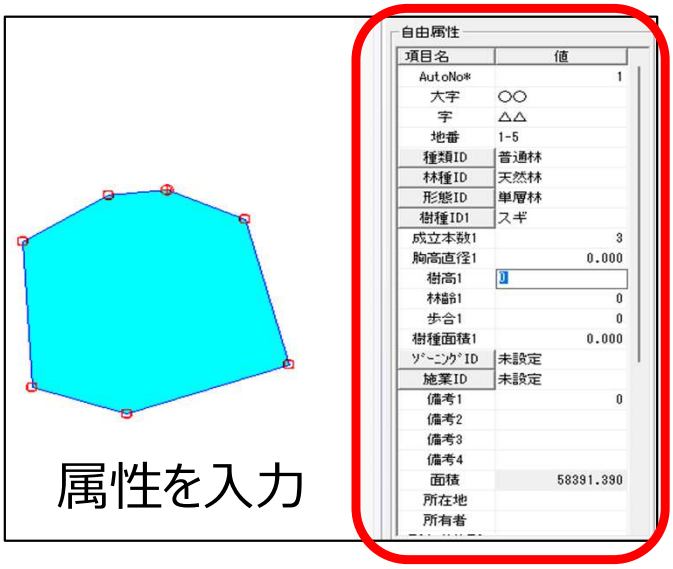
【Assist8→ ARUQAndroid　ラインの属性情報の転送】

切り出しで持っていけるラインの属性情報はAssist8の固有情報の名称(ライン名)のみです。

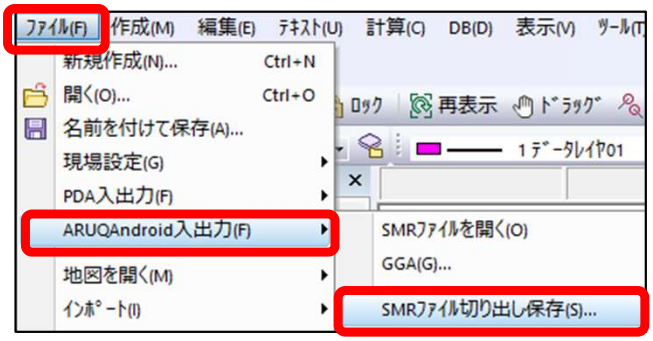
Assist8の属性をARUQAndroidへ転送する方法

【Assist8→ ARUQAndroid　ポリゴンの属性情報の転送】

切り出しで持っていけるポリゴンの属性情報はAssist8の
自由属性の表示順設定の上から8項目のみです。
（AutoNoは除く）
ポリゴンに属性を付与し、通常通り切り出し保存を行います。

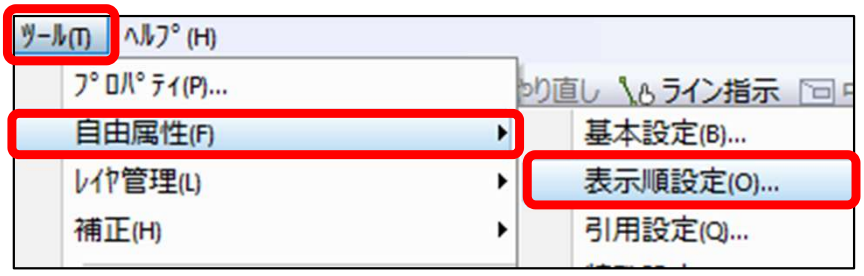


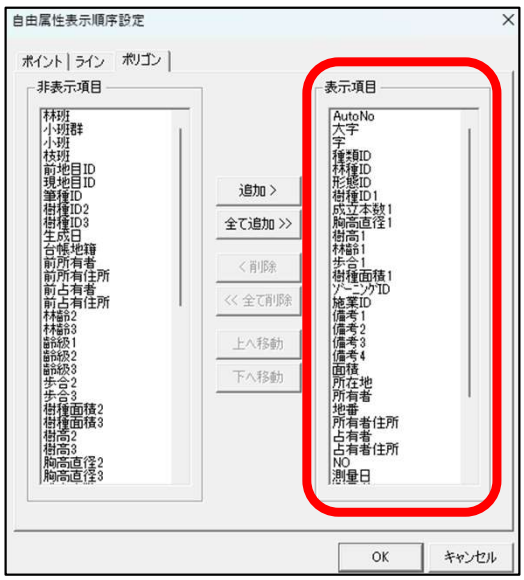
属性を入力



通常通りの切り出し保存

自由属性の並び順は
[ツール]→[自由属性]→[表示順設定]で変更することができます。





Assist8の属性をARUQAndroidへ転送する方法

ARUQAndroidから切り出し保存したsmrファイルを開きます。
対象のポリゴンをタップすると、[ポリゴン情報]が表示されます。
その[ポリゴン情報]をタップするとAssist8で設定した属性情報を表示させることができます。
一番上の[ポリゴン名]には地番で入力した情報が入ります。

Assist8の属性情報